

令和4年7月31日

各位

株式会社 徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

私の趣味の一つにマラソンがあります。数年前に足を故障してずっと休んでいましたが最近、練習を再開しています。誰でもそうですが走り始めは体が重たかったり息が苦しかったりします。しかし我慢して走り続けるとある時からふっと余計な力が抜けて楽になります。それはただ何も考えずに走っていると急に楽になるとしか言いようがないのです。

「楽あれば苦あり」という言葉があります。これは「楽の後には苦しいことが来る。世の中は楽なことばかりではない」という意味です。坐禅の修行でも初めは「足が痛い」「肩が凝る」「腰が張って痛む」など苦痛が多いと聞きます。しかしこのように慣れない坐禅であっても一所懸命に座り続けるとふと楽になる時があると言われます。足が痛いから楽をしようとして足の組み方を浅くしようとしたり、足をずらしたりすると、楽になるどころか逆に一層痛くなります。むしろ足の一本ぐらいへし折れても死にはしないとあってしっかりと組んで座る方が良いと気がつきます。実際には余計な力が抜けて腰骨が安定し、その上に背骨がまっすぐ立って重心が定まり力みがなくなるからとも言われます。故に坐禅は苦行ではなく安楽の法門とも言われます。

今まで苦しいと思っていたことが楽になってくれば物事が何でも楽しめるようになり自ずと道は開けると言われます。

私がマラソンで師事している佐田富美枝先生は若い頃に48時間走のアジア記録を作った有名な方です。その方の語録に「暑かろうが、雨が降ろうが、道を間違えようが、どこか傷めようが、起こることは静かに素直に受け入れる」というものがあります。道を極めた方ならでは言葉です。

【社是】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

【モットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世のため人のため～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう。

草々